

音楽科学習指導案（2年4組）

1 題材 歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう（勸進帳）

2 題材の目標及び評価規準

目標	(1) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり及び、我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。		
	(2) 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを味わって聴く。		
(3) 「勸進帳」の総合芸術としての表現方法や歌舞伎の歴史的背景、長唄の唄い方などに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。			
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	知音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり及び、我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	思音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを味わって聴いている。	態「勸進帳」の総合芸術としての表現方法や歌舞伎の歴史的背景、長唄の唄い方などに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3 題材設定の理由

(1) 教材観

本題材は、歌舞伎十八番「勸進帳（三世並木五瓶 作／四世杵屋六三郎 作曲）」について、グループで役割分担して分析したり、考えたことをプレゼンテーションしたりして鑑賞することを通して、我が国の伝統音楽についての理解や音楽表現について考える力を高めていくものである。

ジグソー学習を設定し、鑑賞場面を分担して個別に聴取と分析をしたり、エキスパートグループで同場面について意見交流したりすることを通して、自分の興味に基づいて主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。また、ジグソー学習で作成した場面ごとのプレゼンテーションを発表してから映像付きで鑑賞することで、場面ごとの共通性や固有性について自分の考えをもって鑑賞したり、長唄や黒御簾音楽と舞や演技などの他の芸術との関わり等について理解を深めたりすることができる。さらに、長唄「寄せの合方」を実際に唄ってみたり、他グループや他クラスが作成したスライドを閲覧したりしてから全場面を通して鑑賞することで、「歌」「舞」「演技（伎）」が一体となった総合芸術における音楽表現の多様性について理解を深め、そのよさや美しさを味わって聴くことができる。

(2) 生徒観（男子15名、女子18名 計33名）

- ・知識については、事前調査における歌舞伎について知っていることの回答が「市川海老蔵」「白塗りの化粧」「出雲阿国」等であることから、音楽の特徴や総合芸術としての知識は身に付いていない。これは、歌舞伎の歴史や背景について知らないことと、メディアや日常生活の中で耳にする機会のある歌舞伎音楽を、舞や演技と関連させて聴く経験がないことが原因である。
- ・思考・判断・表現については、事前調査の「身近ではない音楽を鑑賞するために有効だと思う手段」への回答が「先生に解説してもらおう(67%)」「イメージをどのように表しているか分析する(67%)」「他の芸術や音楽と比較する(40%)」という結果であることから、味わって聴くために比較聴取し共通性や固有性を考えることはあまり身に付いていない。これは、比較聴取についての経験がないわけではなく、音楽を味わう手段として他の曲と比較したり他の芸術と関わらせたりする考えにうまく結び付けられないことが原因である。
- ・主体的に学習に取り組む態度については、事前調査で合唱に対して関心のある生徒が87%であるのに対して、我が国の伝統的な音楽について関心のある生徒は60%という結果から、自ら我が国の伝統的な音楽に親しもうという態度は身に付いていない。これは、我が国の伝統的な音楽に対しての知識や触れる機会が単純に不足していることと、我が国の伝統音楽について知ったことを共有したり語り合ったりする機会が少ないことが原因である。

4 指導と評価の計画（全3時間計画）

過程	時間	◎目標・課題	○学習活動	重点	記録	備考
つかむ	1	◎「勸進帳」について分析し、プレゼンテーション資料を作る活動を通して、歌舞伎に関心を持ち、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。	○いくつかの場面を鑑賞したり、長唄を唄ったりして、歌舞伎や「勸進帳」の特徴を捉える。 ○今までの鑑賞活動を振り返り、新しい音楽を鑑賞する手立てを考え、題材の課題を立てる。	態		態：行動観察 記述分析
		題材の課題：歌詞や場面の表現方法、生活や社会との関わり、他の芸術との関わりなどから、歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう。				
追		「勸進帳」の音楽の特徴や背景などについて分析し、プレゼンテーションを作ろう。	○ジグソー学習のグループ分けと役割分担をし、エキスパートグループでプレゼンテーション資料を作る。	知		知：行動観察 記述分析
求める	1 (本時)	◎プレゼンテーションを聞いてから鑑賞する活動を通して、音色、リズム、速度、旋律を知覚・感受し、場面ごとの共通性や固有性について考え、歌舞伎音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり及び、音楽の多様性について理解を深める。 プレゼンテーションを聞いて分かったことを基に鑑賞し、「勸進帳」や歌舞伎についての理解を深めよう。	○エキスパートグループでプレゼンテーション資料を作る。 ○スライドをまとめ、プレゼンテーションの方法を共有する。 ○教室全体に音楽を流しながら、ホームグループでその場面のプレゼンテーションをする。 ○一つの場面のプレゼンテーション後に、同場面を映像付きで全員で鑑賞する。 ○スライドを Padlet に投稿して共有する。	思 知	○	思：記述分析 知：行動観察 記述分析
まとめる	1	◎「寄せの合方」を唄ったり全場面を鑑賞したりすることを通して、総合芸術としての表現方法や長唄の唄い方などに関心を持ち、知覚・感受を基に音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを味わって聴く。 全場面を鑑賞して、「勸進帳」の魅力についての批評文を書こう。	○長唄「寄せの合方」を唄い、特徴をつかむ。 ○他グループや他クラスのプレゼンテーション資料を参照しながら、映像付きで「勸進帳」の全場面を鑑賞する。 ○「勸進帳」や歌舞伎の魅力についての批評文を書く。 ○題材の課題を振り返り、歌舞伎の魅力や自身の鑑賞に関する取り組み方などについて振り返る。	思 態	○ ○	思：記述分析 態：行動観察 記述分析

5 問題解決の過程における ICT 活用の位置付け

ICT の活用のポイント **個** **協**

つかむ

1 題材の課題をつかみ、「勸進帳」を分析する。

○「勸進帳」を分析し、プレゼンテーション資料を作る。

- ・いくつかの場面を鑑賞し、歌舞伎の特徴や「勸進帳」のあらすじを捉える。
- ・今までの鑑賞活動を振り返り、新しい音楽を鑑賞する手立てを考え、題材の課題を立てる。

題材の課題: 歌詞や場面の表現方法、生活や社会との関わり、他の芸術との関わりなどから、歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう。

- ・ジグソー学習のグループ分けと役割分担をし、エキスパートグループでプレゼンテーション資料を作る。

協 Google スライドやロイロノートの共有ノートを使ってプレゼンテーションを共同編集する条件にすることで、他の人の表現方法を参考にしたり、同じ音楽について別視点での知識を得たり生かしたりしながらスライドの作成ができるようにする。

個 音楽科の Google サイトに用意した特設ページから、資料を閲覧したり担当場面の音楽をイヤフォンで個別に鑑賞したりできるようにすることで、各自の興味や課題意識をもとに個別に鑑賞を進め、繰り返し聴き直すことで一斉に鑑賞するよりも細かく知覚・感受することができるようにする。

個 検索エンジンを活用できるようにすることで、個別の鑑賞で生まれた疑問や課題について調べ、理解を深めることができるようにする。

協 スライドを共同編集できるようにすることで、それぞれの視点で作成したプレゼンテーションをそのまま共有し、エキスパートグループでの気付きをそのままホームグループで発表できるようにする。

協 作成したスライドを音楽科の Google サイト内から Padlet に投稿できるようにすることで、他のエキスパートグループや他クラスのプレゼンテーション資料を参照し、新たな気付きや共感、感動を得ながら鑑賞することができるようにする。

追求する

2 協働的に鑑賞し、理解を深める。

○プレゼンテーションを聞いてから鑑賞する。

- ・エキスパートグループでプレゼンテーション資料を作成する。
- ・スライドをまとめ、プレゼンテーションの方法を共有する。
- ・教室全体に音楽を流しながら、ホームグループでその場面のプレゼンテーションをする。
- ・一つの場面のプレゼンテーション後に、同場面を映像付きで全員で鑑賞する。
- ・プレゼンテーションに使用したスライドを Padlet に投稿して共有する。

個 「寄せの合方」を唄う自分の声を録音し、合唱のときや話し声などと比較して共通性や固有性について考えられるようにすることで、舞台音楽としての表現方法の多様性を理解できるようにする。

個 Google サイトに載せた関連動画や再生リストを活用し、学習を通して得た知識や音楽の味わい方で鑑賞できるようにすることで、我が国の伝統音楽に親しもうとする態度を養うことができるようにする。

まとめる

3 歌舞伎の魅力について考える。

○「寄せの合方」を唄ったり全場面を鑑賞したりする。

- ・長唄「寄せの合方」を唄い、特徴をつかむ。
- ・他グループや他クラスのプレゼンテーション資料を参照しながら、映像付きで「勸進帳」の全場面を鑑賞する。
- ・「勸進帳」や歌舞伎の魅力についての批評文を書く。
- ・題材の課題を振り返り、歌舞伎の魅力や自身の鑑賞に関する取り組み方などについて振り返る。

6 本時の展開 (2/3)

(1) 目標

プレゼンテーションを聞いてから鑑賞する活動を通して、音色、リズム、速度、旋律を知覚・感受し、場面ごとの共通性や固有性について考え、歌舞伎音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり及び、音楽の多様性について理解を深める。

(2) 展開

＜「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるためのICTの活用＞

- 個** 再生リストや共有した音源を活用し、イヤフォンを使って各自で鑑賞曲を聴く。
- 協** Google スライドで鑑賞曲についてのプレゼンテーションを共同編集する。

主な学習活動		指導上の留意点及び支援・評価
予想される生徒の反応	ICT活用<分類>	
<p>1 これまでの学習を想起し、本時の課題をつかむ。</p> <p>○前時のワークシートや作成中のプレゼンテーションを確認する。</p>	<p>○作成中のスライドを振り返る。<データの蓄積></p> <p>○スライドを共同編集する。<共有></p>	<p>○第一時の導入で触れた歌舞伎の基本情報や「勸進帳」のあらすじに触れることで、前時の学習内容を想起できるようにする。</p>
<p>課題：プレゼンテーションを聞いて分かったことを基に鑑賞し、「勸進帳」や歌舞伎についての理解を深めよう。</p>		
<p>2 エキスパートグループでプレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>○音楽を聴きながら、各自の担当箇所の作成をする。</p> <p>○作成したスライドをまとめ、プレゼンテーションの方法を共有する。</p> <p>3 ホームグループで場面1～5の発表と鑑賞を行う。</p> <p>○教室全体に流す音楽の場面のプレゼンテーションをする。</p> <p>○一つの場面のプレゼンテーション後に、同場面を映像付きで全員で鑑賞する。</p> <p>・歌舞伎は庶民が発展させてきた文化で、どのようにすればかっこよいかを、日本の感覚で追求してきた形なのだな。</p> <p>・場面4（判官御手）では、「寄せの合方」とは違った、ゆったりとした速度で、登場人物の心情を表しているな。</p> <p>・場面5（延年の舞）では、リズムミカルな伴奏で、弁慶の勇壮な舞を引き立てているな。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ワークシートで振り返る。</p> <p>○スライドをPadletに投稿して共有する。</p>	<p>○Google サイトに用意した特設ページから、資料を閲覧する。<データ活用></p> <p>○場面ごとの音楽をイヤフォンで個別に鑑賞する。<学習の個性化></p> <p>○検索エンジンを活用して調べる。<データ活用></p> <p>○それぞれの視点で作成したスライドをそのまま共有する。<共有></p> <p>○共有したスライドを用いてプレゼンテーションをする。<可視化></p> <p>○プレゼンテーションを聞いて気付いたことを、ロイロノートのワークシートに記入する。<データの蓄積></p> <p>○エキスパートグループで作成したスライドを、グループのリーダーがPadletに投稿する。<データ蓄積・共有></p> <p>○本時の振り返りをワークシートに記入し、「ロイロノート」で提出する。<思考の整理></p>	<p>○「歌」と「舞」「演技（伎）」との関わりや、歌詞の内容、登場人物の感情、歌舞伎の歴史やオペラ・ミュージカルとの比較など、各場面や担当の聴取のポイントを確認することで、他の場面と比較聴取した際に表現の共通性や固有性が考えられるようにする。個</p> <p>○全体に音楽を流しながら各グループでプレゼンテーションをし、その後全体での鑑賞とすることで、どのグループでも知覚・感受したことの共有と聴き直しができるようにする。協</p> <p>○背景との関わりや、舞や演技などの他の芸術との関わりに対する理解が不足している点は、全体で取り上げ聴き直すことで、音楽の特徴と背景や芸術との関わりについて理解を深められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【知識】 歌舞伎音楽の長唄、三味線などの音楽的特徴と、歌舞伎成立の過程や見どころとの関わり、舞や演技（伎）、既習のオペラなど他の芸術との関わりについて記述している。（ワークシート）</p> </div> <p>○プレゼンテーション資料を他クラスにも公開することで、歌舞伎に対する興味や関心を広げられるようにする。協</p>
<p>＜まとめ・振り返り＞</p> <p>・「勸進帳」の音楽は、主に長唄と黒御簾音楽で展開されていて、長唄は三味線と唄で演奏され、速度変化や音の高さによって場面ごとの状況や心情が表現されていた。</p> <p>・例えば場面5（延年の舞）では、リズムミカルな伴奏で物語のクライマックスを表現するとともに、弁慶の勇壮な舞を引き立てる役割を担っていた。</p>		